

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:6 年 2 月 26 日

事業所名:放課後等デイサービス 宙

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは広く、学習しやすく、活動しやすい空間に整えられている。	はい 11名 いいえ 1名 どちらともいえない 1名	整理整頓をきちんと行ない、快適に過ごせる空間づくりに務める。
	2	職員の適切な配置	一応人員基準はみたしているが、送迎の時間がギリギリなのでもう少しゆとりがあればと思う。	はい 8名 いいえ 1名 どちらともいえない 4名 わからない 4名	人員が増える事で、出来る支援も増えると思う。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	片付ける場所をわかりやすくし、安全に遊べるスペースを確保している。	はい 9名 いいえ 1名 わからない3名	車いすにも対応した設計になっている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行ない、清潔な空間で快適に過ごせるように配慮している。	はい 10名 いいえ 1名 わからない2名	引き続き消毒を徹底し、感染対策を行なっている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日業務前に職員間同士で、反省点や改善点等を話合う時間を設けている。		短時間しか行なえていないので、1週間に1度でも振り返り等を行なえるようにしていく。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同一グループから助言を頂いている。		助言に対する改善を行なうことに務めている。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回テーマを決め、資質向上の為の研修を行なっている。		今後もサービスの資質、職員の業務の質の向上を図る研修を行なっていく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	見直し月にはアセスメントを保護者から取り、ニーズに見合った、個別支援計画を作成している。	はい 11名 いいえ 1名 わからない 1名	今後とも保護者のニーズに応えた、計画書を作成していきたい。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動と集団活動を取り入れて作成している。		個別、集団ともに支援内容を充実させていきたい。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ここに合わせた目標設定を行なえるよう、項目を個々で変えている。		利用者が満足出来る、支援内容へ改善していきたい。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を行っており、こどもの変化に応じて、その都度職員間で情報共有しあい、支援している。	はい 11名 いいえ 1名 わからない 1名	今後とも、きめ細やかな支援を行なっていったらと思う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月の活動プログラムを職員間で話し合い、立案している。		スタッフや利用者のやりたい活動を行なっていきたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	時間や期間、季節に応じて、細やかな支援を行なっている。	はい 11名 いいえ 1名 わからない 2	それぞれの日に楽しく過ごせるように、みんなで考えていきたいと思う。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎月プログラムは変え、昨年度とも重複しないように工夫している。		簡単で楽しい製作をこれからも考えていきたいと思う。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の支援内容を各々で把握し、分担出来るようにしている。		今後とも効率良く、しかも有効的な支援が出来るように徹底して、行なっていきたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	退勤時間で時差がある為、何か変わったことがあれば、ラインで共有しあっている。		気付いた事は何でも言い合える雰囲気になるように努力したい。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	活動日誌に支援に関しては記録しており、検証・改善を継続している。		会議の際に、支援の検証や改善を話し合っていきたい。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に見直しが必要な時には職員間で話し合い、見直しを行なっている。		電話や送迎時にモニタリングを行ない、計画の見直しを行なっていきたい。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	毎回きちんと参画している。		今後もきちんと参画します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象になる利用者がいない為、行なっていない。		対象になる利用者がいない為、行なっていない。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象になる利用者がいない為、行なっていない。		対象になる利用者がいない為、行なっていない。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今年度は移行してきた児童がいない為、行なっていないが来年度より移行してきた場合には情報共有を行なっていきたい。		より十分な情報共有ができるように努力していきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	今年度卒業する児童がいるため、卒業後のフォローや十分な情報提供を行なっていきたい。		今後、卒業生が出た時は、十分な情報提供が出来るように努力していきたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修には参加できていないが、専門機関との連携を図っていく。		職員の人数が確保されれば、研修にも参加していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	同一グループの事業所との交流は	はい 3名 どちらともない 1名 いいえ 2名 わからない 7名	今後も、児童ホームとの連携を密にします。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域のゴミ拾いを月1回行ない貢献しています。		宙の夏祭り等にも、今後地域の方も招待していきたい。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	入所時に説明を行なっている。	はい 12名 いいえ 1名	丁寧な説明を行なっていきたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時にお会いできる方には内容の説明を行なっている。	はい 12名 いいえ 1名	直接会ってお渡し時に説明していくように努力したい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現状では行なえていない。	はい 6名 いいえ 1名 どちらともいえない 3名 わからない 3名	行なっていけるように努力していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や電話にて共通理解をできるように心がけている。	はい 9名 どちらともいえない 2名 いいえ 1名 わからない 1名	時間が無く、短時間しかできていないので、丁寧にお伝えしていきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合には、丁寧に対応している。	はい 7名 どちらともいえない 4名 いいえ 1名 わからない 1名	定期的な面談をする機会を設けていきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今のところ開催できていません。	はい 2名 どちらともいえない 1名 いいえ 5名 わからない 6名	今後は保護者同士の交流も兼ねて行ないたいと思う。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては、迅速かつ誠意をもち対応し、改善をおこなっている。	はい 8名 どちらともいえない 1名 いいえ 1名 わからない 3名	職員の人数が確保されれば、より良い体制整備を整えていきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	手紙や連絡をひらがなにしてお配りしたり、理解しにくい場合には電話で説明するなどの配慮を行なっている。	はい 10名 いいえ 2名 わからない 1名	これからも引き続き、丁寧に配慮していきたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月お便りを出し、行事予定についてや、活動報告などの情報をお知らせしているがホームページはUPされていません。	はい 9名 どちらともいえない 1名 いいえ 1名 わからない 2名	今後はホームページでも、日々の様子などをUPし、保護者の方にもみていただけるようにしていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫にて保管している。	はい 11名 いいえ 1名 わからない 1名	情報漏洩に気を付けて保管していく。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルについては策定し、研修時に職員間で共有しているが、保護者への周知はおこなっていない。	はい 12名 いいえ 1名 わからない 1名	マニュアルもこまめに見直し、改善・更新して
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	6ヶ月に1度、火災や地震・風水害・不審者対応などの訓練を実施している。	はい 11名 いいえ 1名 わからない 2名	毎月のお便りや連絡帳にて、訓練を行なった結果等をいしらせしている。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を行なうとともに、防犯カメラを設置し、虐待の早期発見にも繋げている。		児童虐待については研修を行ない、互いの行動には気をつけるよう職員間で確認あっている。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行なうほどではないが、動きを制限せざるをえない状況もあり、保護者にも説明を行い、了解を得ている。		保護者との共通理解を深め、より慎重に対応していきたい。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメント時にアレルギーについて調査を行ない、指示書をコピーさせてもらい、おやつや調理実習時には食材等に十分注意している。		アレルギーのある児の食事やおやつ時には、誤食のないように気をつけていきたい。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、職員がいつでも閲覧できるようにしている。		研修にて事例を取り上げ、ヒヤリハットを未然に防げるよう気を付けていきたい。